

2024 年 4 月入学のための東洋大学大学院学内推薦入学試験について(2 月)

(博士前期・修士課程：文学・社会学・法学・経営学・経済学・国際学・国際観光学研究科)

2024 年度 4 月入学のための大学院学内推薦入学試験を下表の日程で実施します。

●**2013 年度以降入学の在学学生 (成績表に GPA 表記あり)** は、各自で ToyoNet-G から最新の成績表をダウンロードし、出願基準を充足しているか確認してください。窓口での成績等確認は不要です。また、入試要項は対象者に公式アプリでお送りしていますので、各自ダウンロードしてください。

※**編入学等により GPA が成績表に記載されていない学生は、成績確認が必要**となります。編入学等の場合、本学での修得単位のみが換算の対象です。また下記の成績確認期間以前に、本学の正規課程で 32 単位以上修得していなければ学内推薦の対象になりません。

●**2012 年度以前入学の在学学生**で学内推薦入試を希望される方は、大学院教務課 (mldaig-ad@toyo.jp) までお問い合わせください。

●**通信教育課程の在学学生**は GPA の導入が 2014 年度入学生からとなるため、「2012 年度以前入学生」を「2013 年度以前入学生」、「2013 年度以降入学生」を「2014 年度以降入学生」と読み替えたうえで、本内容を確認してください。

希望研究科・専攻		成績等確認期間 ※2013 年度以降 入学の在学学生は不要	出願期間	入試日	選考方法	出願基準 ※1、2	対象学部学科 ※3	備考
文学	哲学	2023 年 11 月 27 日(月) ～ 12 月 11 日(月) の窓口時間内 ※注意事項 正式出願書類には 指導教員等からの 推薦書が必要と なりますので、 「成績確認」は早めに 行ってください。		2024 年 2 月 17 日(土)	面接	・ GPA3.10 以上	別表「進学可能専攻一覧」記載の 学科 4 年生	11 月末までに所属学科の指導教員もしくは学科長にその旨を申し出、事前指導を受けてください。出願の際の書類には、推薦書が必要となりますので、その旨を申し出て、教員から内諾を得てください。
	インド哲学仏教学					・ GPA3.15 以上		
	日本文学文化					・ GPA3.30 以上		日本文学文化学科出身者以外は、11 月末までに所属学科の指導教員もしくは学科長にその旨を申し出、面談を受け、そのうえで大学院での指導希望教員もしくは専攻長に面談を申し込み、事前指導を受けてください。出願の際の書類には、大学院での指導希望教員もしくは専攻長の推薦書が必要となりますので、その旨を申し出て、教員から内諾を得てください。
	中国哲学					・ GPA3.20 以上		
	英文学					・ GPA3.30 以上		
	史学					・ GPA3.25 以上		11 月末までに所属学科の指導教員もしくは学科長にその旨を申し出、事前指導を受けてください。出願の際の書類には、推薦書が必要となりますので、その旨を申し出て、教員から内諾を得てください。
	教育学					・ GPA3.20 以上		
	国際文化コミュニケーション					・ GPA3.30 以上		
社会学	社会学				小論文・面接	・ GPA3.20 以上 ・ 卒業論文の履修登録必須		出願時に卒業論文要旨の提出が必要となります。 併せて、履修登録確認表(ToyoNet-G から各個人で印刷)を提出してください。
	社会心理学							
法学	私法学				・ GPA3.20 以上 ・ GPA3.10 以上			
	公法学 ※4							
国際観光学	国際観光学				・ GPA3.30 以上 ・ 卒業論文提出者			
経営学	経営学・マーケティング					卒業論文提出者は、卒業論文を ToyoNet-Ace で提出したことが分かるページを印刷したものを、出願時（卒業論文提出期限か出願後の場合は卒業論文提出時）に提出してください。なお、評定平均・GPA が基準に満たず、卒業論文を提出しなかったもしくは ToyoNet-Ace で提出したことが分かるページを印刷したものを提出しなかった場合は、学内推薦で出願していても他の入試区分へ変更となります。		
	ビジネス・会計ファイナンス ※4、5							
経済学	経済学				面接	・ GPA3.10 以上 ・ 卒業論文提出予定者		
	公民連携 (標準コースのみ)	・ GPA3.10 以上 ・ 卒業論文または政策提言提出予定者	卒業論文または政策提言を ToyoNet-Ace で提出したことが分かるページを印刷したものを、出願時（提出期限か出願後の場合は提出時）に提出してください。なお、卒業論文または政策提言を提出しなかったもしくは ToyoNet-Ace で提出したことが分かるページを印刷したものを提出しなかった場合は、学内推薦で出願していても他の試験区分へ変更となります。					
国際学	グローバル・イノベーション学	・ GPA3.30 以上	別表「進学可能専攻一覧」記載の 学科 4 年生					
	国際地域学							

※1 学内推薦の出願基準を満たさずに出願した場合は、学内推薦で出願していても他の入試区分へ変更となります。

※2 成績確認時点における通算成績で基準を確認するため、在学している学部が通年制であれば前年度(3 年次)までの成績、セメスタ制であれば前セメスタ(7 セメスタ)までの成績となります。ただし、通信教育課程の学生は成績確認期間時点での成績となります。

※3 「対象学部・学科」の「4 年生」は、2024 年 3 月卒業見込者を指します(経済学部の 3 年次卒業を認められた受験資格の場合は、3 年生で左記の卒業見込者を指します)。名称変更のあった学部・学科に所属の場合は、学内推薦での進学の可否を、事前に大学院教務担当課へお問い合わせください。

※4 税理士法の「学位による試験科目免除」を目指す税理士希望者のための学内推薦入試については、別紙で確認してください。

※5 経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻中小企業診断士登録養成コース希望者は、上記基準に加え以下の(1)または(2)にも該当している者のみ対象です。

(1)出願時点で、その年度または前年度において、中小企業診断士国家試験の第 1 次試験に合格した者

(2)2000 年度以前の制度において中小企業診断士国家試験の第 1 次試験に合格した者、ただし、2001 年度以降の中小企業診断士国家試験の第 2 次試験を受験した者、2006 年度 4 月以降に独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施する養成課程または国に登録した他の養成機関が実施する登録養成課程を受講した者を除く。

また、本コースと中小企業診断士国家試験第 2 次試験との併願については次の通りとなります。

・本コースと第 2 次試験は併願できますが、第 2 次試験の合格者は登録養成課程制度の趣旨に鑑み受け入れていません。併願されている方が第 2 次試験に合格された場合には、入学を辞退していただきます。

なお、辞退された場合も入学検定料・入学金(入学申込金)の返還はありません。また、入学後、在学中に第 2 次試験に合格された場合でも、登録養成課程制度の趣旨に鑑み引き続き本コースに所属することはできません。

編入学等により GPA の記載がない学生は、下記方法で GPA を算出・確認の上、成績確認期間に大学院教務課窓口へ成績表を提出してください。(10 月 1 日以降に発行したもの)

※小数点第 3 位以下は切り捨て、卒業単位の科目のみを換算し諸資格科目等卒業単位にならない科目を除いてください。再履修した科目は更新後の成績とし、最初の成績は計算に含めません。

(S の単位数×4.3)+(A の単位数×4.0)+(B の単位数×3.0)+(C の単位数×2.0)+(D の単位数×1.0)+(E、*の単位数×0.0)

総履修登録単位数

大学院教務課